



第43回 インフォメーション・ミーティング

2022年12月7日（水）株式会社 山梨中央銀行

付属資料集

付属資料

当行プロフィール	3
2022年度中間決算の概況	4
自己資本比率の状況	7
資本配賦の状況	8
従業員数・店舗数の推移	9
預金の状況	10
貸出金の状況	12
業種別貸出金（ローンポートフォリオ）	14
規模別・地域別貸出金残高（未残）	15
リスク管理債権及び金融再生法開示債権	16
債務者区分の遷移	19
預金・貸出金シェアの状況（山梨県内）	20
有価証券ポートフォリオ	21
マーケット別収益状況	23
地域別融資RAROAの状況	24
新型コロナウイルス感染症への対応	25
グループ会社一覧	26

山梨県の経済

山梨県内の地場産業	28
高速交通網の整備	29
最近の県内経済動向	31
山梨県経済の特性・構造	38
山梨県の県勢・経済指標	43

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

会社概要 (2022年9月末現在)

創業	1877年(明治10年)4月
創立	1941年(昭和16年)12月
本店所在地	甲府市丸の内1丁目20番8号
資本金	154億円
従業員数	1,683人
営業店舗数	本支店89 (うちインターネット支店 1) 出張所10 (うちライフスクエア8) (山梨 78、東京 19、神奈川 2)

指定金融機関受託状況 山梨県、県内27市町村中23市町村



経営理念

「地域密着と健全経営」

当行は、地域に根ざし、地域社会の繁栄と経済発展に寄与するとともに、お客さまから信頼していただける健全な経営姿勢を堅持し、経営内容の充実に努めてまいります。

2022年度中間決算の概況 ①

(百万円、%)		20/9期	21/9期	22/9期	21/9期－20/9期		22/9期－21/9期	
					増 減	増減率	増 減	増減率
平 残	資金運用勘定	3,188,866	3,508,019	4,065,758	319,153	10.00	557,739	15.89
	うち貸出金	1,846,887	1,900,044	2,068,698	53,157	2.87	168,654	8.87
	有価証券	1,213,965	1,266,764	1,361,096	52,799	4.34	94,332	7.44
	コールローン	3,318	2,686	2,310	△632	△19.04	△376	△13.99
	預け金(除無利息分)	109,004	319,499	614,129	210,495	193.10	294,630	92.21
	資金調達勘定	3,513,514	4,106,741	4,655,464	593,227	16.88	548,723	13.36
	うち預金等	3,187,670	3,420,204	3,551,291	232,534	7.29	131,087	3.83
	コールマネー	62,431	97,907	331,614	35,476	56.82	233,707	238.70
	(参考)金銭の信託	9,999	5,000	5,166	△4,999	△49.99	166	3.32

2022年度中間決算の概況 ②

(百万円、%)

	20/9期	21/9期	22/9期	21/9期－20/9期		22/9期－21/9期	
				増 減	増減率	増 減	増減率
資金運用利回	0.92	0.77	0.78	△0.15		0.01	
うち貸出金利回	0.88	0.88	0.87	0.00		△0.01	
有価証券利回	1.07	0.77	0.94	△0.30		0.17	
コールローン利回	0.11	0.07	1.57	△0.04		1.50	
預け金利回	0.09	0.10	0.14	0.01		0.04	
資金調達利回	0.01	0.00	0.02	△0.01		0.02	
うち預金等利回	0.01	0.00	0.00	△0.01		0.00	
コールマネー利回	△0.03	△0.01	△0.01	0.02		0.00	
借入金利回	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
経費率	0.80	0.74	0.68	△0.06		△0.06	
資金調達原価	0.74	0.63	0.54	△0.11		△0.09	
預貸金利回差	0.87	0.88	0.87	0.01		△0.01	
資金運用・調達利回差	0.91	0.77	0.76	△0.14		△0.01	
預貸金利鞘	0.07	0.13	0.19	0.06		0.06	
総資金利鞘	0.18	0.14	0.24	△0.04		0.10	

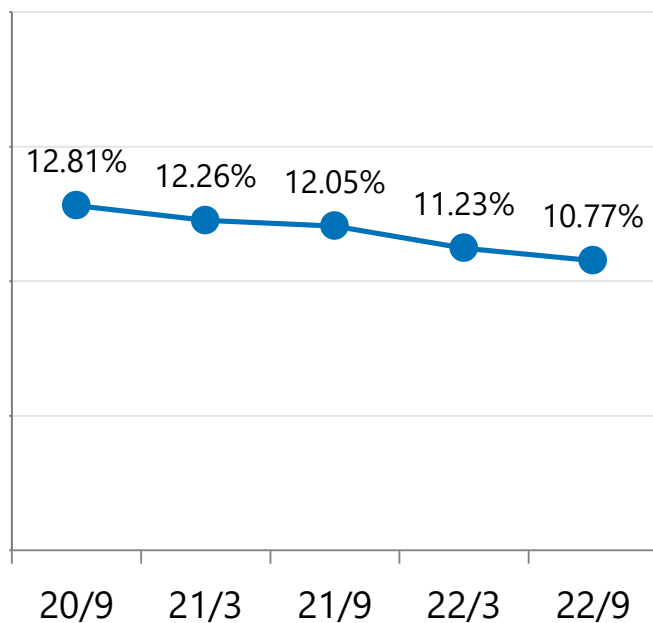
利
回
・
利
鞘

2022年度中間決算の概況 ③

(百万円、%)

	20/9期	21/9期	22/9期	21/9期－20/9期		22/9期－21/9期	
				増減	増減率	増減	増減率
資金利益	14,555	13,363	15,534	△1,192	△8.18	2,171	16.24
うち貸出金利息	8,157	8,409	9,107	252	3.08	698	8.30
有価証券利息	6,533	4,930	6,427	△1,603	△24.53	1,497	30.36
コールローン利息	1	0	18	△1	△100.00	18	—
預け金利息	54	163	458	109	201.85	295	180.98
役務取引等利益	2,423	3,213	3,232	790	32.60	19	0.59
その他業務利益	△657	△1,951	△4,415	△1,294	△196.95	△2,464	△126.29
うち国債等債券関係損益	△594	△1,881	△3,564	△1,287	△216.66	△1,683	△89.47
一般貸倒引当金繰入額	—	△613	88	△613	—	701	114.35
損益							
経費	12,847	12,857	12,121	10	0.07	△736	△5.72
業務純益	3,474	2,381	2,141	△1,093	△31.46	△240	△10.07
修正業務純益	3,474	1,767	2,229	△1,707	△49.13	462	26.14
コア業務純益	4,068	3,649	5,794	△419	△10.29	2,145	58.78
除く投信解約損益	4,068	3,649	5,611	△419	△10.29	1,962	53.76
臨時損益	△1,222	△67	1,881	1,155	94.51	1,948	2,907.46
うち貸倒引当金戻入額	94	—	—	△94	△100.00	—	—
株式等関係損益	△1,229	882	2,001	2,111	171.76	1,119	126.87
不良債権処理額	23	1,316	181	1,293	5,621.73	△1,135	△86.24
経常利益	2,252	2,313	4,023	61	2.70	1,710	73.92
特別損益	△192	△48	30	144	75.00	78	162.50
法人税、住民税及び事業税	592	1,001	1,200	409	69.08	199	19.88
法人税等調整額	336	△310	67	△646	△192.26	377	121.61
中間純利益	1,130	1,574	2,786	444	39.29	1,212	77.00

自己資本比率の推移



自己資本額の内訳

(億円)

	20/9	21/3	21/9	22/3	22/9
自己資本額	1,786	1,788	1,792	1,800	1,810
リスク・アセット等	13,938	14,583	14,868	16,024	16,806

リスク・アセット等の算出方法

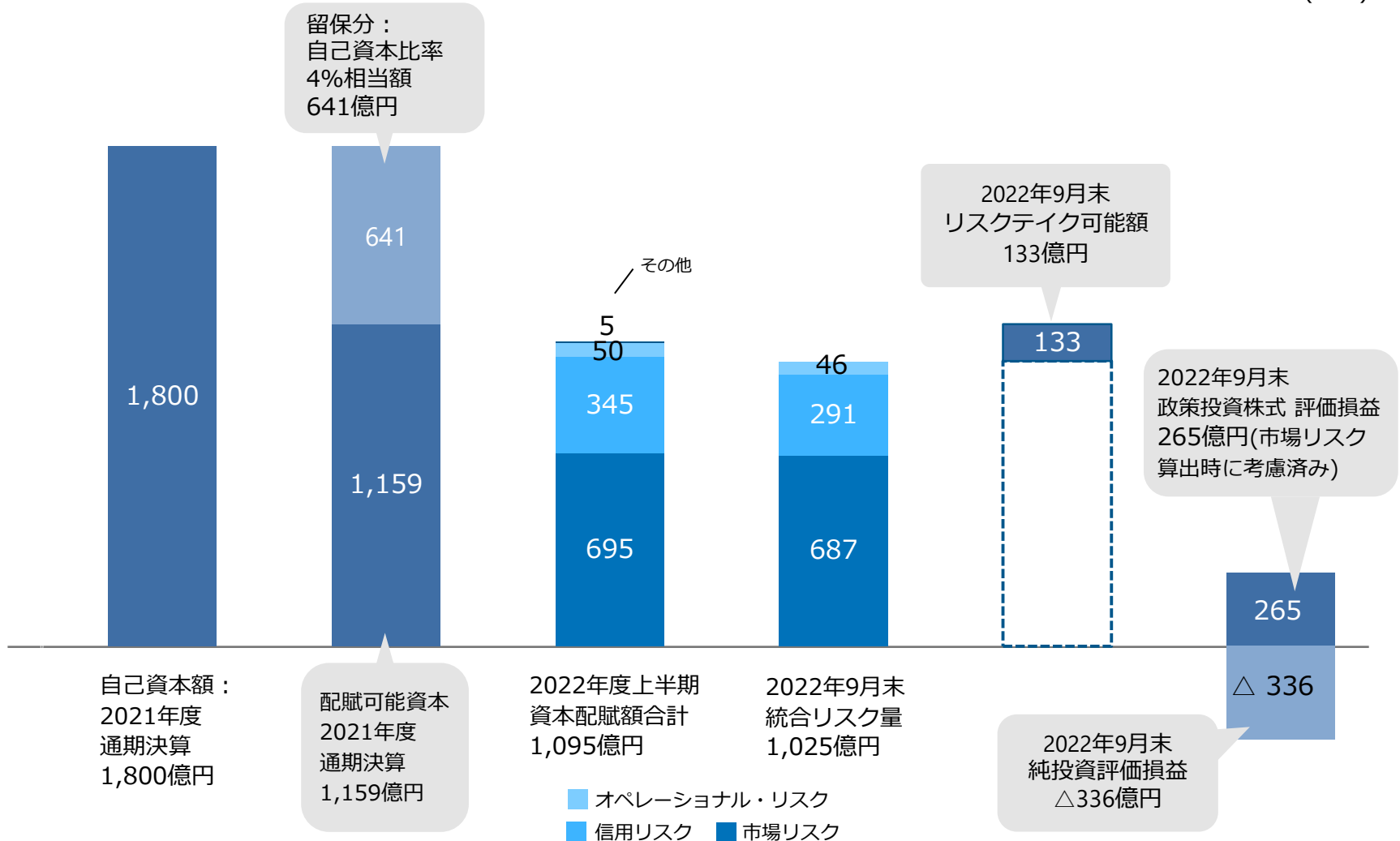
信用リスク	標準的手法
オペレーション・リスク	粗利益配分手法

参考：銀行勘定の金利リスク(22/9期末)

金利リスク量	184億円
自己資本の額	1,810億円
銀行勘定の金利リスク(IRRBB)	10.1%

* コア預金の算定に内部モデルを使用しております。

(億円)



(人、店、か所)

	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	22/9 13/3比 増減	
従業員数	1,708	1,699	1,675	1,677	1,685	1,737	1,726	1,681	1,660	1,655	1,683	△25
パートタイマー	714	691	672	678	711	714	686	689	677	680	678	△36
店舗数 (含む2出張所)	90	90	90	91	91	92	92	92	92	92	91	1
単独店	43	41	41	42	42	41	41	35	27	22	20	△3
エリア/フルバンキング店	21	21	21	21	21	21	21	22	25	24	25	4
エリア/機能特定店、非対面店	26	28	28	28	28	30	30	35	40	46	46	20
実質的な営業拠点数 (支店内支店を1とカウント)	89	89	89	90	90	87	86	82	78	78	77	△12
法人営業所	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	△1
ライフスクエア・ローンスクエア	6	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	2
店舗外ATMコーナー数	126	129	130	133	135	141	142	144	138	119	116	△10

※1 機能特定店は、サテライト店・エリア特定店および非対面店(インターネット富士山支店)の合計です。

※2 支店内支店は以下の通りです。中央市場支店(国母支店内)、住吉支店(南支店内)、千塚支店(湯村支店内)、春日居支店(石和支店内)、禾生支店(都留支店内)、東山梨支店(日下部支店内)、中道支店(城南支店内)、北新支店(武田通支店内)、竜ヶ丘支店(吉田支店内)、甲西支店(小笠原支店内)、高根支店(長坂支店内)、鰍沢支店(青柳支店内)、吉祥寺支店(荻窪支店内)

※3 店舗外ATMコーナー数にはセブン銀行との共同ATMは含んでおりません。

1. 平残

(億円、%)

01 地域別	21/3	21/9 (半期実績)	22/3	22/9 (半期実績)	前年同期比 (額)	前年同期比 (率)	23/3 (計画)	前期比 (額)	前期比 (率)
県外	3,787	3,947	3,977	4,069	122	3.09	4,046	69	1.73
合計	32,390	34,202	34,274	35,512	1,310	3.83	35,240	966	2.81

(億円、%)

02 マーケット別	21/3	21/9 (半期実績)	22/3	22/9 (半期実績)	前年同期比 (額)	前年同期比 (率)	23/3 (計画)	前期比 (額)	前期比 (率)
地公体等	2,084	2,441	2,271	2,539	98	4.01	2,307	36	1.58
一般法人	7,591	8,178	8,178	8,427	249	3.04	8,379	201	2.45
個人	22,556	23,420	23,664	24,371	951	4.06	24,386	722	3.05
合計	32,390	34,202	34,274	35,512	1,310	3.83	35,240	966	2.81

2.未残

(億円、%)

01 地域別	21/3	21/9 (半期実績)	22/3	22/9 (半期実績)	前年同期比 (額)	前年同期比 (率)	23/3 (計画)	前期比	前期比
								(額)	(率)
県内	30,500	30,089	31,100	31,126	1,037	3.44	31,329	229	0.73
県外	3,972	3,961	4,070	4,060	99	2.49	4,022	△48	△1.17
合計	34,472	34,051	35,171	35,187	1,136	3.33	35,351	180	0.51

(億円、%)

02 マーケット別	21/3	21/9 (半期実績)	22/3	22/9 (半期実績)	前年同期比 (額)	前年同期比 (率)	23/3 (計画)	前期比	前期比
								(額)	(率)
金融機関	276	183	275	184	1	0.54	257	△18	△6.54
地公体等	3,162	2,079	2,740	2,031	△48	△2.30	2,527	△213	△7.77
一般法人	7,873	8,177	8,081	8,469	292	3.57	8,183	102	1.26
個人	23,160	23,612	24,073	24,501	889	3.76	24,382	309	1.28
合計	34,472	34,051	35,171	35,187	1,136	3.33	35,351	180	0.51

1. 平残

(億円、%)

01 地域別	21/3	21/9 (半期実績)	22/3	22/9 (半期実績)	前年同期比 (額)	前年同期比 (率)	23/3 (計画)	前期比 (額)	前期比 (率)
県内	9,253	9,598	9,632	9,977	379	3.94	10,079	447	4.64
県外	7,839	8,197	8,402	9,239	1,042	12.71	9,510	1,108	13.18
本部所管貸出	1,738	1,204	1,218	1,469	265	22.00	1,539	321	26.35
合計	18,831	19,000	19,253	20,686	1,686	8.87	21,129	1,876	9.74

(注)本部所管貸出は、財務省向貸出、譲受債権および山梨県当貸等をいう。

(億円、%)

02 マーケット別	21/3	21/9 (半期実績)	22/3	22/9 (半期実績)	前年同期比 (額)	前年同期比 (率)	23/3 (計画)	前期比 (額)	前期比 (率)
金融機関	323	410	417	524	114	27.80	529	112	26.85
地公体等	3,109	2,603	2,562	2,705	102	3.91	2,667	105	4.09
一般法人	11,451	11,960	12,227	13,335	1,375	11.49	13,772	1,545	12.63
個人	3,946	4,025	4,046	4,120	95	2.36	4,160	114	2.81
合計	18,831	19,000	19,253	20,686	1,686	8.87	21,129	1,876	9.74

2.未残

(億円、%)

01 地域別	21/3	21/9 (半期実績)	22/3	22/9 (半期実績)	前年同期比 (額)	前年同期比 (率)	23/3 (計画)	前期比 (額)	前期比 (率)
県内	10,484	9,664	10,193	10,070	406	4.20	10,518	325	3.18
県外	8,174	8,272	8,982	9,720	1,448	17.50	10,040	1,058	11.77
本部所管貸出	1,266	1,165	1,369	1,613	448	38.45	1,592	223	16.28
合計	19,924	19,102	20,545	21,405	2,303	12.05	22,150	1,605	7.81

(注)本部所管貸出は、財務省向貸出、譲受債権および山梨県当貸等をいう。

(億円、%)

02 マーケット別	21/3	21/9 (半期実績)	22/3	22/9 (半期実績)	前年同期比 (額)	前年同期比 (率)	23/3 (計画)	前期比 (額)	前期比 (率)
金融機関	410	418	454	638	220	52.63	594	140	30.83
地公体等	3,322	2,524	2,710	2,632	108	4.27	2,587	△123	△4.53
一般法人	12,187	12,113	13,280	13,978	1,865	15.39	14,716	1,436	10.81
個人	4,004	4,045	4,100	4,155	110	2.71	4,252	152	3.70
合計	19,924	19,102	20,545	21,405	2,303	12.05	22,150	1,605	7.81

業種別貸出金(ローンポートフォリオ)

(金額単位：百万円)

	22/3		22/9		前期比増減	
	貸出残高	構成比	貸出残高	構成比	貸出残高	構成比
製造業	245,560	12.0%	268,361	12.5%	22,801	0.5P
農業、林業	4,391	0.2%	3,767	0.2%	△624	0.0P
漁業	20	0.0%	14	0.0%	△6	0.0P
鉱業、採石業、砂利採取業	3,328	0.2%	1,644	0.1%	△1,684	△0.1P
建設業	50,304	2.4%	46,939	2.2%	△3,365	△0.2P
電気・ガス・熱供給・水道業	44,153	2.1%	45,123	2.1%	970	0.0P
情報通信業	19,329	0.9%	16,119	0.7%	△3,210	△0.2P
運輸業、郵便業	127,337	6.2%	140,706	6.6%	13,369	0.4P
卸売業、小売業	165,710	8.1%	168,602	7.9%	2,892	△0.2P
金融業、保険業	95,232	4.6%	121,142	5.6%	25,910	1.0P
不動産業、物品賃貸業	420,636	20.5%	440,448	20.6%	19,812	0.1P
不動産業	328,205	16.0%	355,520	16.6%	27,315	0.6P
地方公社	19,614	1.0%	6,003	0.3%	△13,611	△0.7P
物品賃貸業	72,816	3.5%	78,924	3.7%	6,108	0.2P
その他サービス業	172,091	8.4%	182,105	8.5%	10,014	0.1P
国・地方公共団体	271,013	13.2%	263,251	12.3%	△7,762	△0.9P
その他（個人）	435,465	21.2%	442,291	20.7%	6,826	△0.5P
貸出金合計	2,054,575	100.0%	2,140,519	100.0%	85,944	-

規模別・地域別貸出金残高（未残）

(億円、%、ポイント)

		全体			県内			県外			本部所管貸出			県内+本部所管貸出		
		22/3	22/9	前期比	22/3	22/9	前期比	22/3	22/9	前期比	22/3	22/9	前期比	22/3	22/9	前期比
国 地方公共団体	残高	2,710	2,632	△78	2,462	2,393	△69	17	14	△3	229	224	△5	2,691	2,617	△74
	構成比	13.2%	12.3%	0.9	24.2%	23.8%	△0.4	0.2%	0.1%	△0.1	16.7%	13.9%	△2.8	23.3%	22.4%	△0.9
事業性	残高	13,480	14,349	869	4,455	4,373	△82	7,883	8,586	703	1,139	1,388	249	5,594	5,761	167
	構成比	65.6%	67.0%	1.4	43.7%	43.4%	△0.3	87.8%	88.3%	0.5	83.2%	86.1%	2.9	48.4%	49.3%	0.9
大企業	残高	5,171	5,628	457	384	367	△17	4,065	4,439	374	722	822	100	1,106	1,189	83
	構成比	25.2%	26.3%	1.1	3.8%	3.6%	△0.2	45.3%	45.7%	0.4	52.7%	51.0%	△1.7	9.6%	10.2%	0.6
中堅企業	残高	201	202	1	58	54	△4	142	147	5	-	-	-	58	54	△4
	構成比	1.0%	0.9%	△0.1	0.6%	0.5%	△0.1	1.6%	1.5%	△0.1	-	-	-	0.5%	0.5%	0
中小企業	残高	8,108	8,519	411	4,013	3,952	△61	3,676	4,000	324	417	566	149	4,430	4,518	88
	構成比	39.5%	39.8%	0.3	39.4%	39.2%	△0.2	40.9%	41.2%	0.3	30.5%	35.1%	4.6	38.3%	38.7%	0.4
非事業性 個人	残高	4,354	4,422	68	3,274	3,303	29	1,079	1,119	40	-	-	-	3,274	3,303	29
	構成比	21.2%	20.7%	△0.5	32.1%	32.8%	0.7	12.0%	11.5%	△0.5	-	-	-	28.3%	28.3%	0
合計	残高	20,545	21,405	860	10,193	10,070	△123	8,982	9,720	738	1,369	1,613	244	11,562	11,684	122
	構成比	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-

リスク管理債権及び金融再生法開示債権の開示

(金額単位：億円)

当行では、部分直接償却を実施していません。

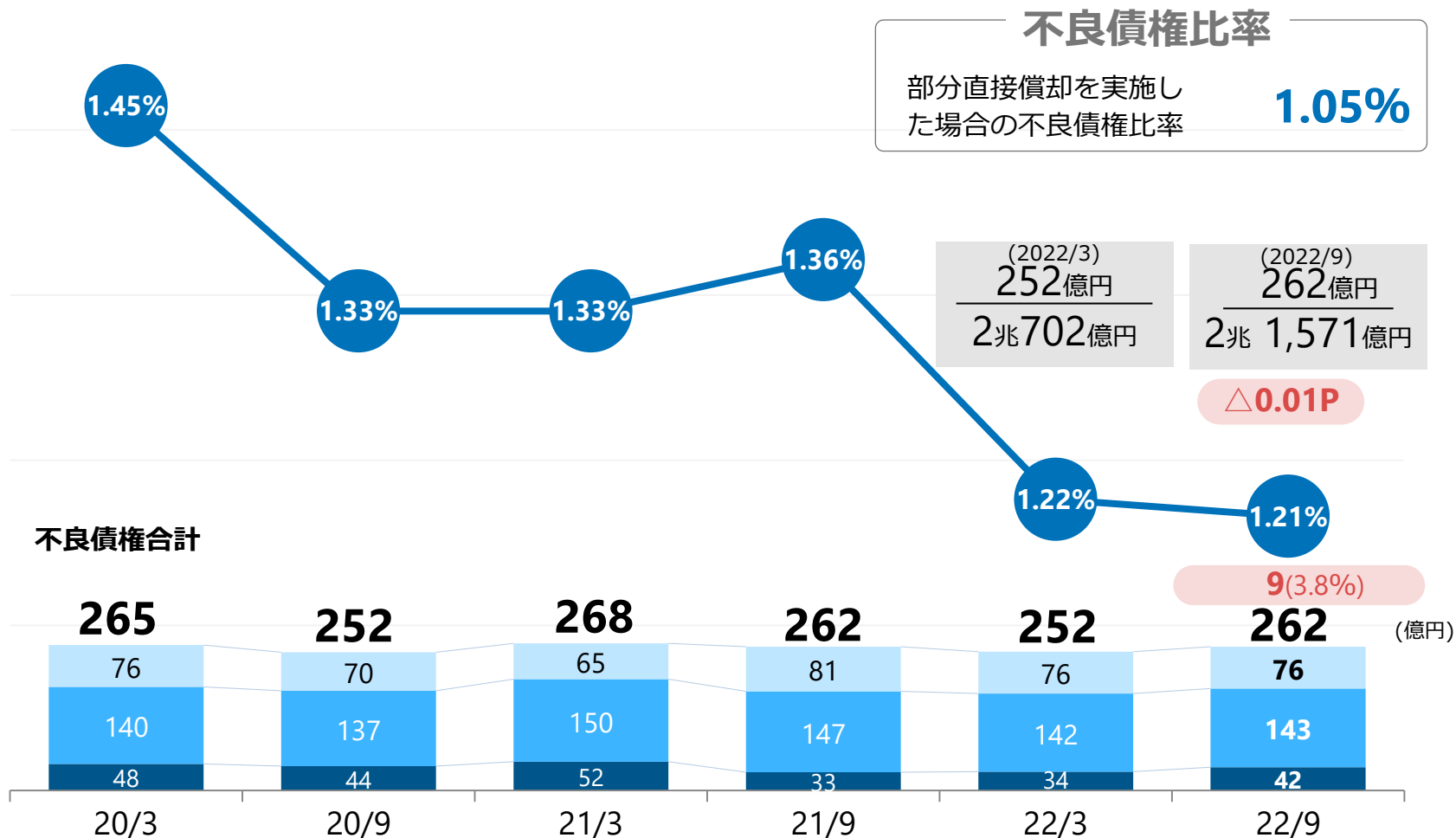
	22/3期末	22/9期末	前期比増減	22/9期末 連結
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	76	76	0	78
危険債権	142	143	0	143
要管理債権	34	42	8	42
三月以上延滞債権額	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	34	42	8	42
合計(A) (総与信残高に占める比率)	252 (1.22%)	262 (1.21%)	9 (△0.01P)	265 (1.23%)
保全額(B)	223	231	7	233
保全率 (B)÷(A)	88.40%	88.05%	△0.35P	88.11%

*部分直接償却を実施した場合の不良債権額(単体)は、以下のとおりとなります。

	22/9期末 部分直接償却前①	22/9期末 部分直接償却後②	増減 ② - ①
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	76	42	△34
危険債権	143	143	0
要管理債権	42	42	0
三月以上延滞債権額	—	—	—
貸出条件緩和債権額	42	42	0
合計 (総与信残高に占める比率)	262 (1.21%)	228 (1.05%)	△34 (△0.16%)

リスク管理債権及び金融再生法開示債権額・比率推移

■ 破産更生等債権
 ■ 危険債権
 ■ 要管理債権



リスク管理債権及び金融再生法開示債権の保全状況

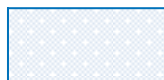
開示債権	保全状況	保全率
262 (億円)	231 (億円)	88.0%
76 破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	38 貸倒引当金 38 担保・保証等	100% 破産更生債権及びこれ らに準ずる債権
143 危険債権	21 貸倒引当金 111 担保・保証等	93.2% 危険債権
42 要管理債権	5 貸倒引当金 15 担保・保証等	49.5% 要管理債権

総与信残高ベース
(22/3期末→22/9期末)

(億円)

22/9期末

		正常先	その他 要注意先	要管理先	破綻懸念 先	実質破綻 先	破綻先	破綻懸念先 以下への 劣化比率
新規	-	842	1	-	0	0	-	
正常先	19,187	19,334	43	0	1	1	0	0.01%
その他 要注意先	1,175	35	946	16	9	0	0	0.92%
要管理先	46	-	0	44	1	0	-	3.82%
破綻懸念先	142	-	2	-	131	1	-	
実質破綻先	38	0	-	-	-	36	0	
破綻先	37	-	-	-	-	-	35	
合計	20,627	20,211	993	61	143	40	36	



下方遷移



上方遷移

* 残高は、貸出金・支払承諾・外国為替・与信関係仮払金・未収利息を含めた総与信残高ベース。
ただし、国・地方公共団体の残高および自己査定非抽出先は「正常先」に含めて記載。

1. 預金シェア

(%、ポイント)

	20/3	20/9	21/3	21/9	22/3	22/9	前期比
当行	49.8	49.6	51.2	50.7	51.2	50.9	▲ 0.3
大手行	7.0	6.8	6.7	6.7	6.6	6.7	0.1
信金・信組	27.6	28.1	27.3	27.1	27.1	27.0	▲ 0.1
JA	13.8	13.7	12.9	13.6	13.0	13.4	0.4
政府系ほか	1.9	1.8	1.8	1.8	1.9	1.8	▲ 0.1

※ゆうちょ銀行を除く

2. 貸出金シェア

(%、ポイント)

	20/3	20/9	21/3	21/9	22/3	22/9	前期比
当行	44.9	43.6	45.8	43.9	45.2	45.1	▲ 0.1
大手行	8.0	7.5	7.2	7.0	6.8	6.8	0.0
信金・信組	30.4	29.8	28.6	29.6	28.8	28.8	0.0
JA	5.9	5.7	5.3	5.7	6.0	6.3	0.3
政府系ほか	10.8	13.5	13.1	13.7	13.2	13.0	▲ 0.2

<時価評価前残高の推移>

(億円、%、ポイント)

	21/3期		21/9期		22/3期		22/9期		前年同月比増減	
	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比
国債	3,242	25.6	2,995	23.1	3,145	22.6	2,713	20.4	△ 282	△ 2.7
地方債	3,448	27.2	3,696	28.4	3,614	26.0	3,721	28.0	25	△ 0.4
社債	1,261	9.9	1,323	10.2	1,342	9.7	1,355	10.2	32	0.0
株式	295	2.3	266	2.1	273	2.0	262	2.0	△ 4	△ 0.1
政策投資株式	212	1.7	204	1.6	207	1.5	206	1.6	2	0.0
純投資株式	82	0.6	62	0.5	65	0.5	55	0.4	△ 7	△ 0.1
投資信託等	3,746	29.5	3,624	27.9	3,981	28.7	3,765	28.3	141	0.4
外貨建債券	692	5.5	1,090	8.3	1,536	11.0	1,474	11.1	384	2.8
合計	12,687	100.0	12,997	100.0	13,894	100.0	13,292	100.0	295	

<有価証券利息の推移>

(百万円、%、ポイント)

	21/3期		21/9期		22/3期		22/9期		前年同月比増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
円建債券	3,522	30.3	1,786	36.2	3,558	36.3	1,762	27.4	△ 24	△ 8.8
株式	1,091	9.4	587	11.9	1,065	10.9	661	10.3	74	△ 1.6
投資信託等	6,418	55.2	1,988	40.3	3,401	34.7	2,545	39.6	557	△ 0.7
外貨建債券	591	5.1	568	11.6	1,774	18.1	1,459	22.7	891	11.1
合計	11,624	100.0	4,930	100.0	9,801	100.0	6,427	100.0	1,497	

※21/3期から、投信解約損益をネット処理し、収益超過の場合は有価証券利息、損失超過の場合は国債等債券償還損に計上する決算処理に変更（過去分も同様の決算処理に修正して表示）

<利回りの推移>

(%)

	21/3期	21/9期	22/3期	22/9期	前年同月比 増減 (P)
円 建 債 券	0.46	0.44	0.43	0.43	△ 0.01
株 式	3.43	4.22	3.89	4.95	0.73
投 資 信 託 等	1.59	1.11	0.93	1.34	0.23
円 貨 建 計	0.91	0.73	0.66	0.81	0.08
外 貨 建 債 券	1.71	1.49	1.68	2.01	0.52
合 計	0.94	0.77	0.74	0.94	0.17

<評価損益の推移>

(億円)

	21/3期	21/9期	22/3期	22/9期	前年同月比 増減
円 建 債 券	74	78	△ 2	△ 64	△ 142
株 式	354	354	300	280	△ 74
うち政策投資株式	325	320	266	265	△ 55
投 資 信 託 等	9	47	1	△ 157	△ 204
外 貨 建 債 券	△ 8	0	△ 62	△ 128	△ 128
合 計	429	479	236	△ 70	△ 549

* 投資事業組合出資の評価損益を含む

<売買損益の推移>

(百万円)

	21/3期	21/9期	22/3期	22/9期	前年同月比 増減
国債等債券損益	△ 2,010	△ 1,881	△ 4,826	△ 3,564	△ 1,683
国債等債券売却益	4,879	391	526	3,099	2,708
国債等債券売却損	1,599	415	3,586	6,663	6,248
国債等債券償却	33	-	-	-	-
国債等債券償還損	5,257	1,857	1,767	-	△ 1,857
株式等関係損益	590	882	2,002	2,001	1,119
株式等売却益	2,215	1,649	2,330	2,077	428
株式等売却損	842	235	321	69	△ 166
株式等償却	782	531	6	6	△ 525
合 計	△ 1,420	△ 999	△ 2,824	△ 1,562	△ 563

<投資信託解約益・解約損の推移>

(百万円)

	21/3期	21/9期	22/3期	22/9期	前年同月比 増減
投資信託解約益	512	877	2,331	1,225	348
投資信託解約損	5,770	2,734	4,098	1,041	△ 1,693
合 計	△ 5,257	△ 1,857	△ 1,767	183	2,040

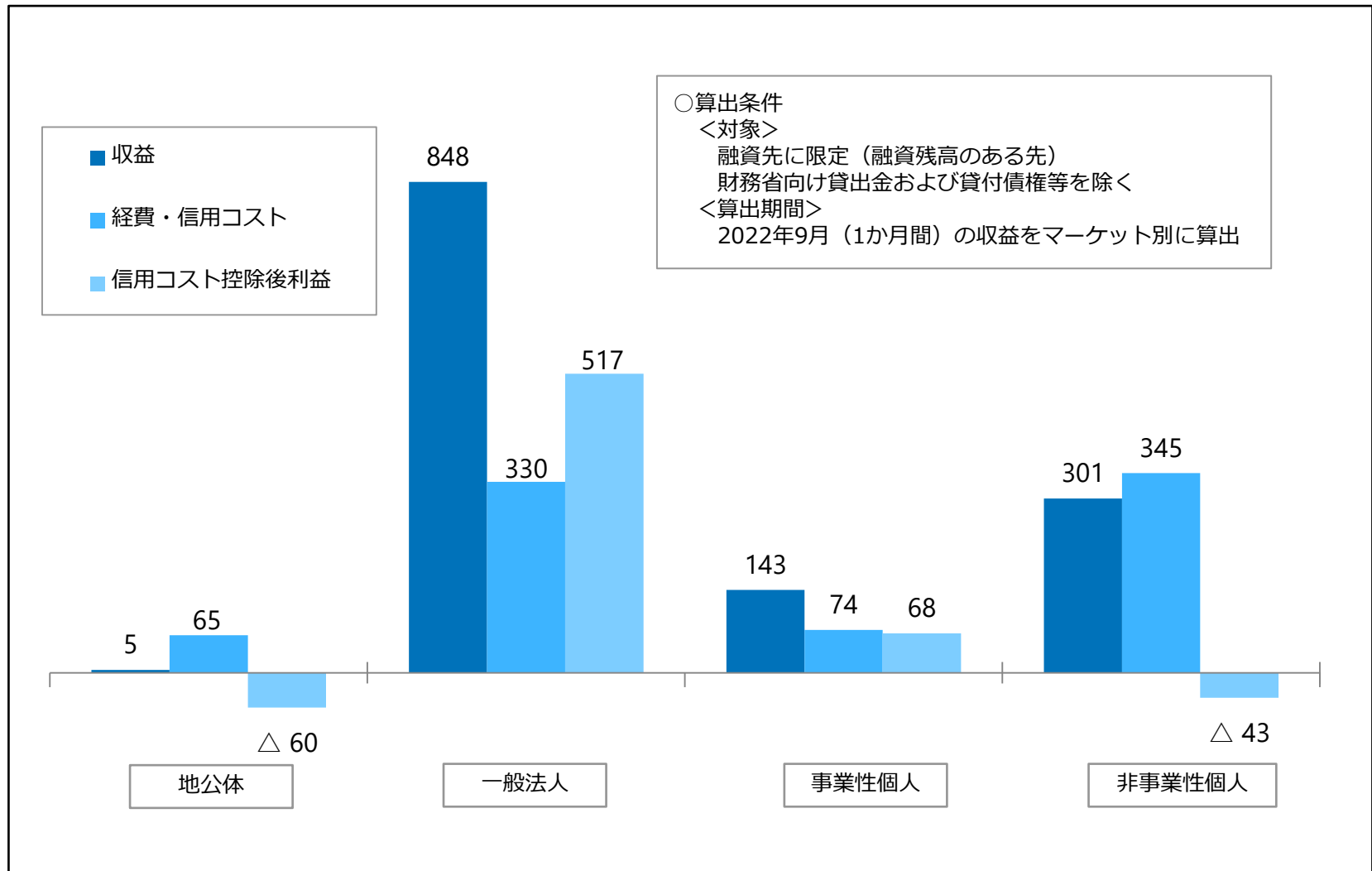
<債券修正デュレーションの推移>

	21/3期	21/9期	22/3期	22/9期	前年同月比 増減
円 建 債 券	5.9	5.9	6.2	6.1	0.2
外 貨 建 債 券	6.6	6.1	5.7	5.1	△ 1.0

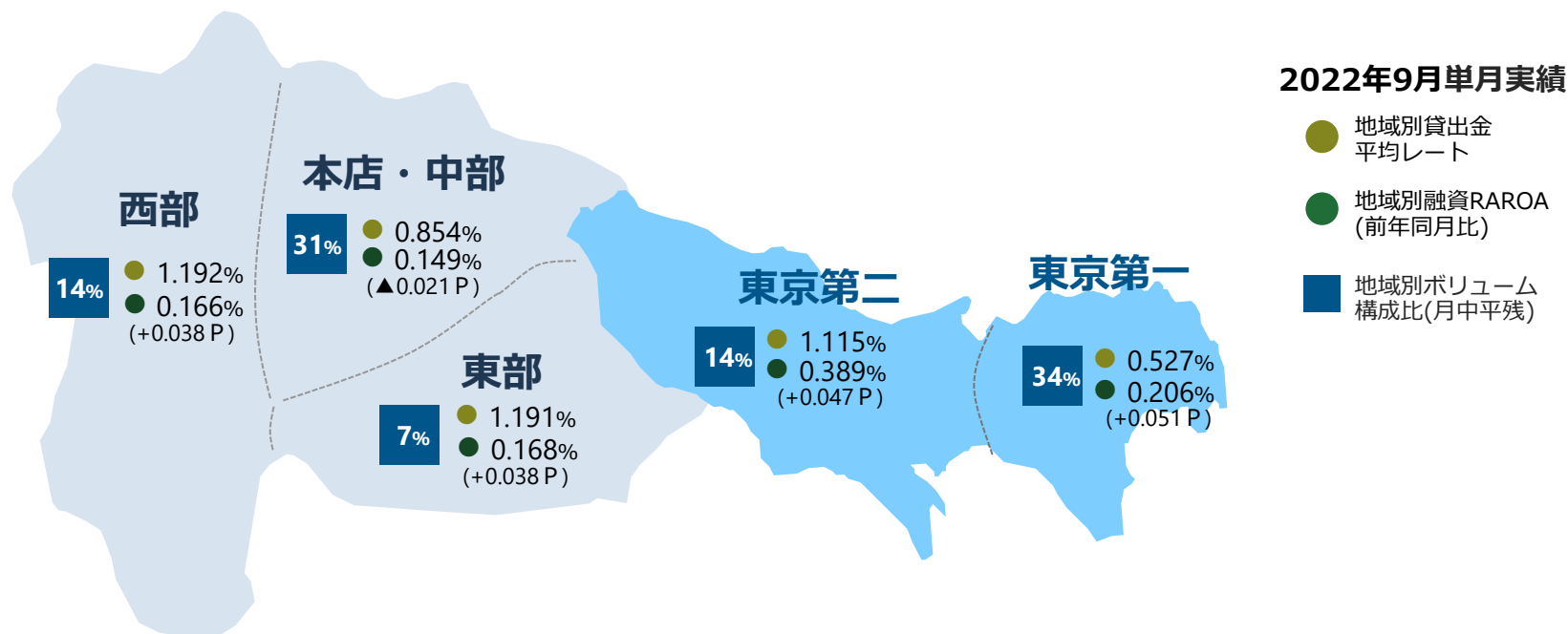
※21/3期から、投信解約損益をネット処理し、収益超過の場合は有価証券利息、損失超過の場合は国債等債券償還損に計上する決算処理に変更（過去分も同様の決算処理に修正して表示）

<2022年9月単月実績>

(百万円)



全体の融資RAROA : 0.206% (前年同月比 +0.025P)



融資RAROA

貸出金に関する採算性を評価する指標

算式：信用コスト控除後利益 / 貸出金

* 信用コスト = 貸出金平残 × デフォルト率 × (1 - 回収率)

対象：債務者区分 正常・要注意先 (要管理先を含む)

財務省向け貸出金・貸付債権等の本部所管貸出金は除く

経費：貸出金に係る一般経費のほか住宅ローン団信保険料・消費者ローン保証料を含む

アフターコロナを見据えた企業支援の徹底

資金繰り支援・再生支援の状況

新型コロナウイルス感染症関連融資の実績

2022年9月末日時点

新規融資 実行件数/金額 (件/億円)			条件変更 実行件数/金額 (件/億円)
合計	プロパー融資	信保付融資	
5,262 /1,305	248/296	5,014/1,009	3,720/1,101

WillとSkillをもって、3S
(Smile・Speed・Simple)
対応で地域や企業の再生と
その後の再成長を推進

お客さまとの接点強化

- 実質無利子融資の元金据置期間が徐々に終了となり、来年度をピークに約定返済が開始。コロナ禍に加え、物価高、ウクライナ情勢などの影響を受けるお客さまが多く、事業継続意欲の減退や元金返済開始後に資金繰りに窮することが予想されることから、お客さまと「接点強化」「深度ある対話」を実施し、事業状況や見通しの把握と併せて返済計画等をヒアリング。

政府系金融機関との連携・協調

- 経営計画・資金調達計画の策定支援からニーズに沿った資金供給を実施するため、日本政策金融公庫との連携体制を強化し、協調融資スキーム「新型コロナ対策 経営強化連携融資【愛称：山梨Progress】」を創設。
- 「山梨中銀資本性ローン（20）」や日本公庫の「新型コロナウイルス感染症対策挑戦支援資本強化特別貸付」等を活用し、お客さまの資金繰り安定化や財務体質改善をサポート。

本業支援・財務改善等の状況

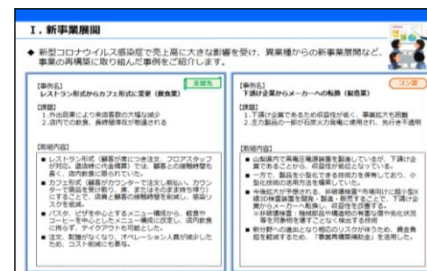
「一緒に考え、対話する」ことにより、経営者とともに課題解決に取り組む

お客さまへの本業支援の取組み

- 営業店と本部が連携し、取引先企業の売上回復・収益構造改善に向けた本業支援やビジネスモデルの再構築等、個別企業の実態に合わせたコンサルティング支援を展開。
- 新事業展開や事業・業種転換を支援する「事業再構築補助金」など国の補助金等を有効活用。
- 静岡・山梨アライアンスを活用した販路拡大支援、外部連携機関との提携拡充。

事例集の作成

- コロナ禍の劇的な経営環境の変化のなかで、お客さまが売上高や収益の回復・増加等に取り組む事例を纏めた「新型コロナウイルス感染症に立ち向かう企業の活動事例集 (Vol.1~3)」を作成 (84事例を収録)。
- お客さまと対話する中で、アフターコロナを見据えた新事業展開など業績回復に向けた対応策の検討に活用。



(百万円、22/9期末)

会社名	山梨中央保証(株)	山梨中銀リース(株)	山梨中銀 「ディーシーカード」(株)	山梨中銀 経営コンサルティング(株)
設立年月日	1986年7月1日	1987年4月6日	1991年7月2日	1996年8月2日
資本金 (当行出資比率) (グループ出資比率)	20 (99.65%) (99.81%)	20 (35.25%) (66.00%)	20 (30.25%) (67.50%)	100 (45.00%) (87.50%)
事業内容	信用保証業務等	リース業務等	クレジットカード 業務等	総合コンサルティング 業務、 ベンチャーキャピタル等
営業収益	265	2,263	498	92
営業利益	198	177	△3	26
経常利益	267	179	7	27
当期純利益	201	114	4	17
総資産	10,080	10,205	3,452	1,896
純資産	6,529	3,970	1,448	1,444
借入金残高 (うち、当行からの借入金残高)	— (—)	5,703 (5,333)	613 (613)	— (—)

山梨県の経済



ワイン

- ・日本ワイン生産量全国1位(※)
- ・「山梨」ワイン表示指定(国税庁)



絹織物



日本酒

「山梨」日本酒表示指定(国税庁)



ニット



ミネラルウォーター

出荷額全国1位



印伝



果物

葡萄・桃・すもも収穫量全国1位



和紙



ジュエリー

ジュエリー出荷額全国2位

(※) 日本ワイン：国産ぶどうのみを原料とし、日本国内で製造された果実酒

出典：山梨県HP等

期待効果

関西・東海圏からの観光客・受注機会増加、物流拠点の拡大、首都圏への通勤可能範囲拡大による定住者増加等

リニア中央新幹線

- 2014.10 国土交通相が着工認可、H39年（2027年）開業予定
- 2015.12 南アルプストンネル（連絡路）の山梨側区間着工
- 2016.01 品川駅着工
- 2016.11 南アルプストンネルの長野工区着工
- 2017.03 山梨県が「リニア環境未来都市整備方針」を策定
- 2018.04 南アルプストンネル（本線）の山梨工区着工
- 2019.11 神奈川県駅（仮称）着工



所要時間	
品川-甲府	25分
品川-名古屋	40分
品川-大阪	67分



リニア中央新幹線の路線図

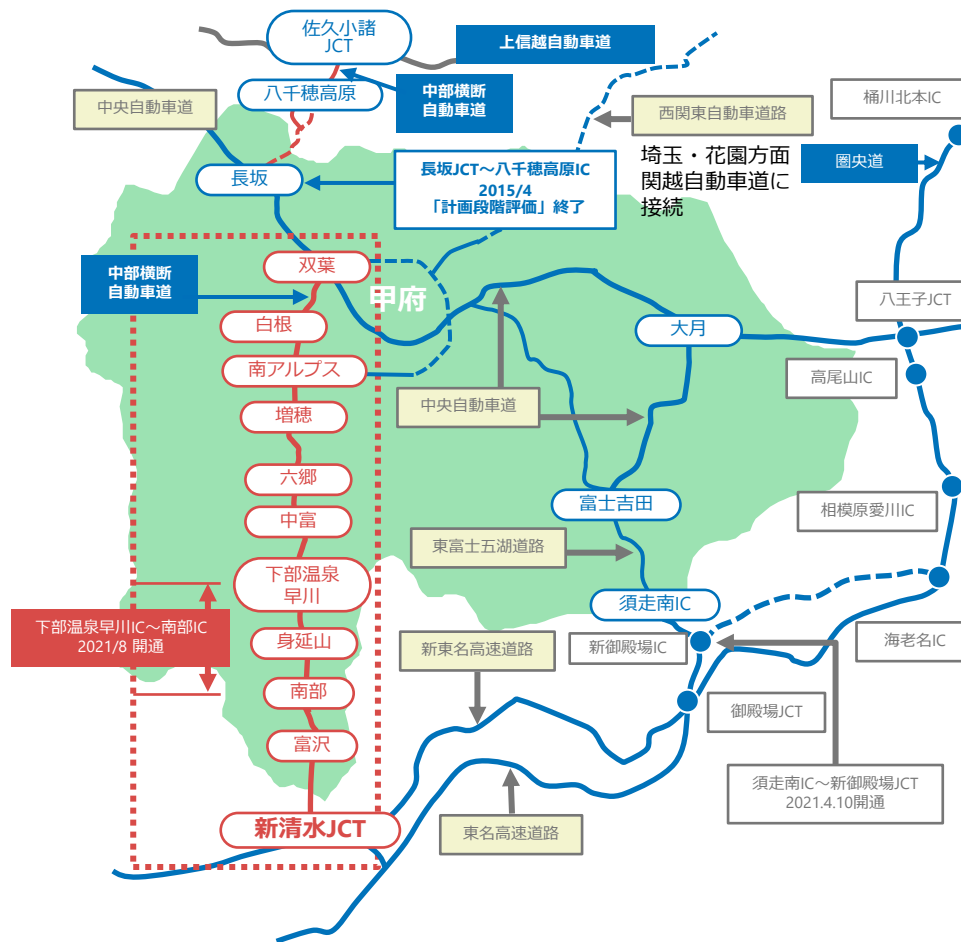
※名古屋以西のルート・駅位置は仮

期待効果

関西・東海圏からの観光客・受注機会増加、物流拠点の拡大、首都圏への通勤可能範囲拡大による定住者増加等

中部横断自動車道

中部横断自動車道の静岡方面全線
 開通により
 甲府市・静岡市間は1時間40分で
 アクセス(約△1時間)



概況

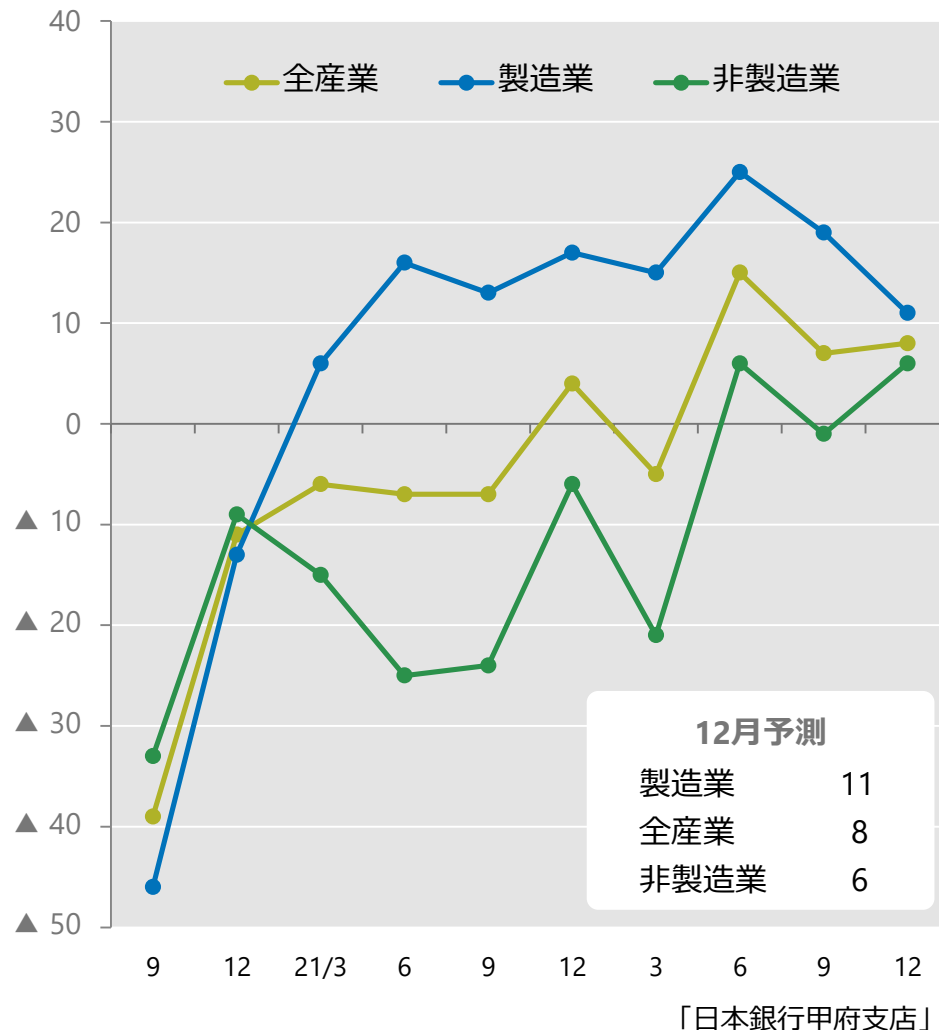
山梨県の景気（9月～10月）は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されるなかで、緩やかに持ち直している。生産面においては、機械工業が、全体としては好調に推移しているものの、原材料価格の上昇や供給制約の影響などにより一部に弱い動きもみられる。需要面においては、設備投資で減速感が窺われる一方、個人消費は持ち直している。

日銀短観業況判断D.I.をみると、景況感は感染拡大が落ち着いたことなどから改善を示した後、再び悪化している。先行きについては、非製造業が持ち直している反面、製造業では更なる落ち込みを見込んでいる。

日銀短観業況判断D.I.(県内)

	6月	9月	12月(予測)
全産業	15	7	8
製造業	25	19	11
非製造業	6	-1	6

日銀短観業況判断D.I.(県内)



【需要動向】

個人消費は、食料品が堅調に推移したほか、衣料品も伸長するなど、総じて持ち直している。

設備投資は、資材価格上昇の影響もあり減速感が窺われる。

① 個人消費

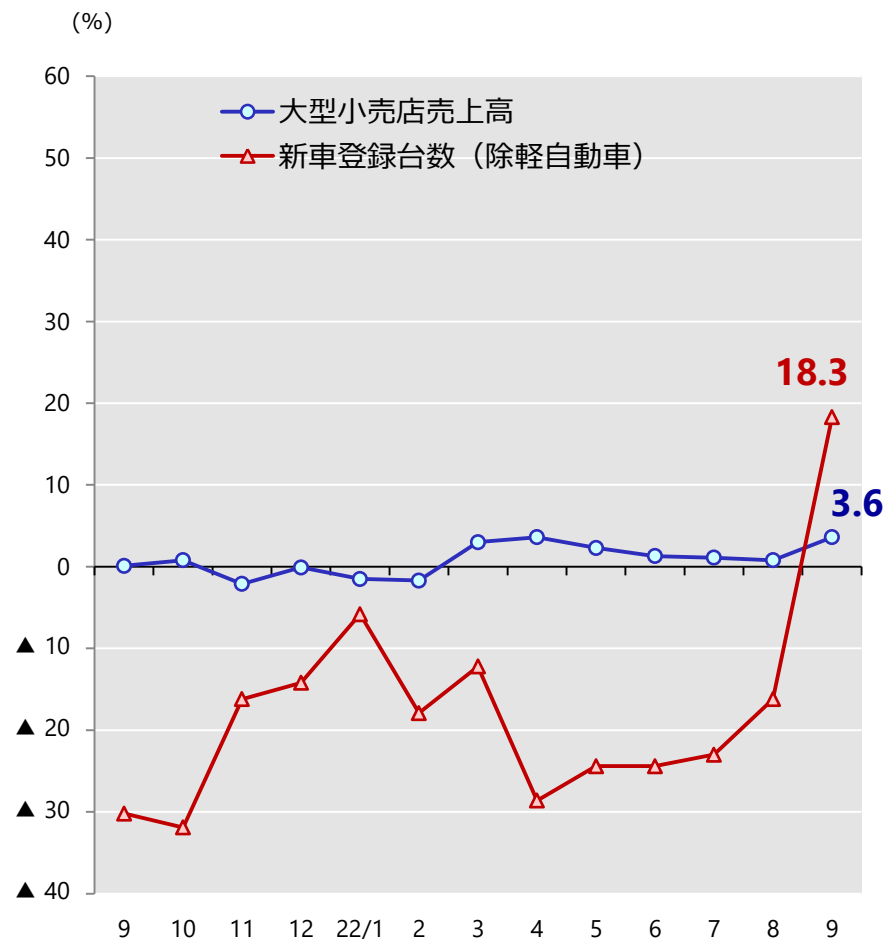
・ 大型小売店売上

新型コロナウイルス感染再拡大の影響で一部に弱い動きがみられたものの、政府の行動制限が回避されたこともあり、均すと底堅い動きとなっている。

・ 新車登録台数

半導体不足や部品・部材の調達難など供給制約の影響で前年を下回る水準で推移している。

需要動向①（前年比増減率）



「経済産業省」、「日本自動車販売協会連合会」

需要動向②（前年比増減率）

・ 観光 ・ レジャー

感染再拡大がみられたものの、政府の行動制限が回避されたことや各種支援策の効果もあり、回復基調で推移している。

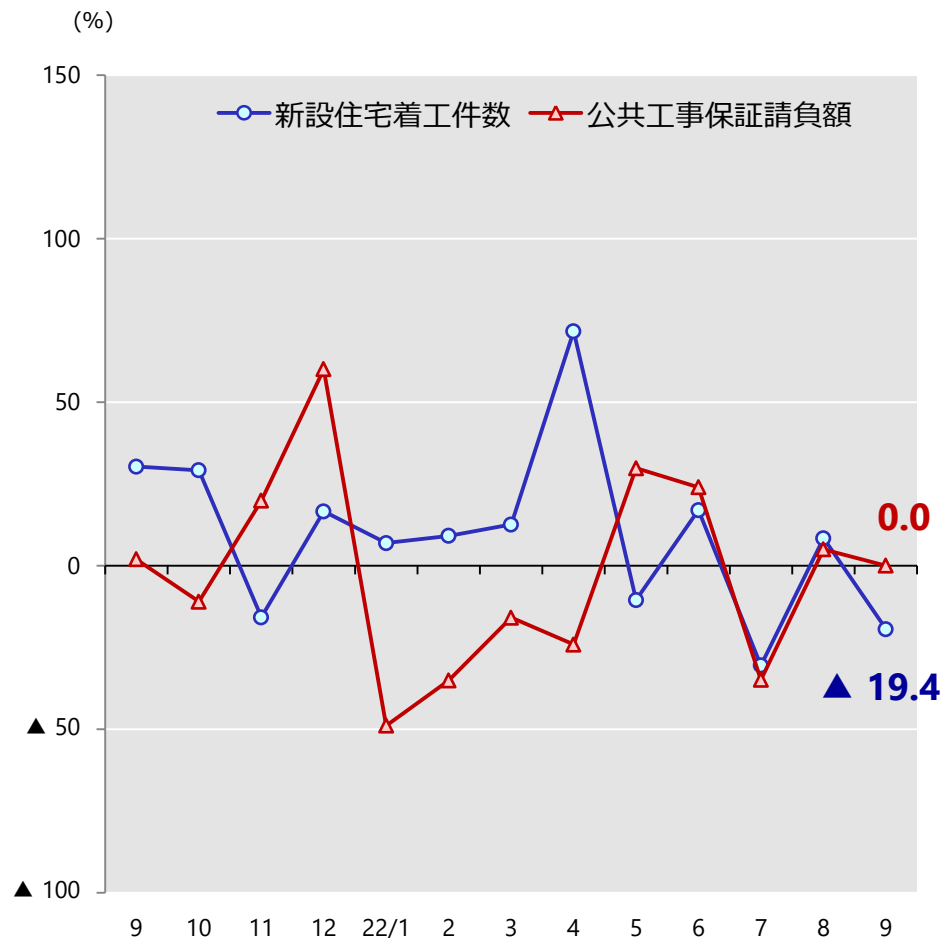
9月の県内観光は、台風の接近があったが、県内への影響は少なく、各地の入込みは総じて前年を上回る。

② 住宅建設

新設住宅着工件数は、建設コストの増加が下押し圧力となるなか、一進一退の動きとなっている。

③ 公共工事

周期的に増減を繰り返しているが、全体としては例年並みの水準となっている。



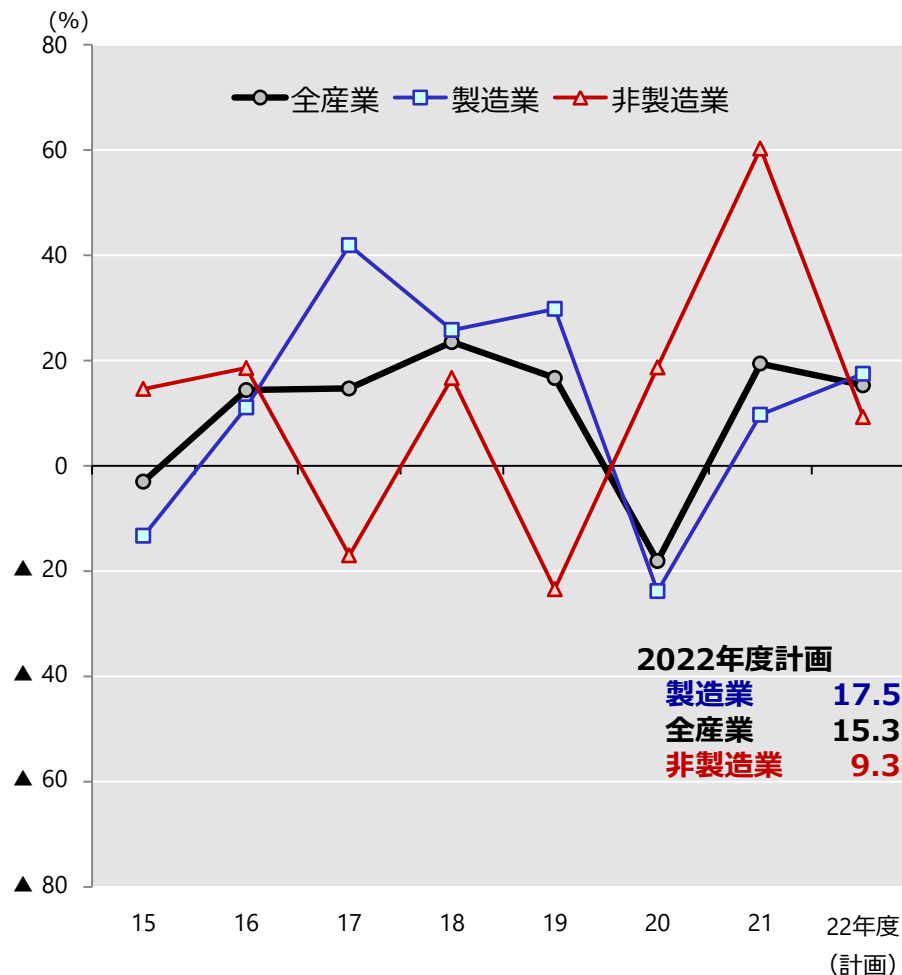
「国土交通省」、「東日本建設業保証㈱」

④ 設備投資

設備投資は、持ち直し傾向で推移していたが、足元で減速感が窺われる。

なお、日銀短観（9月調査）によると、2022年度は製造業、非製造業ともに前年度を上回る計画となっている。

県内設備投資動向（日銀短観）（前年度比増減率）



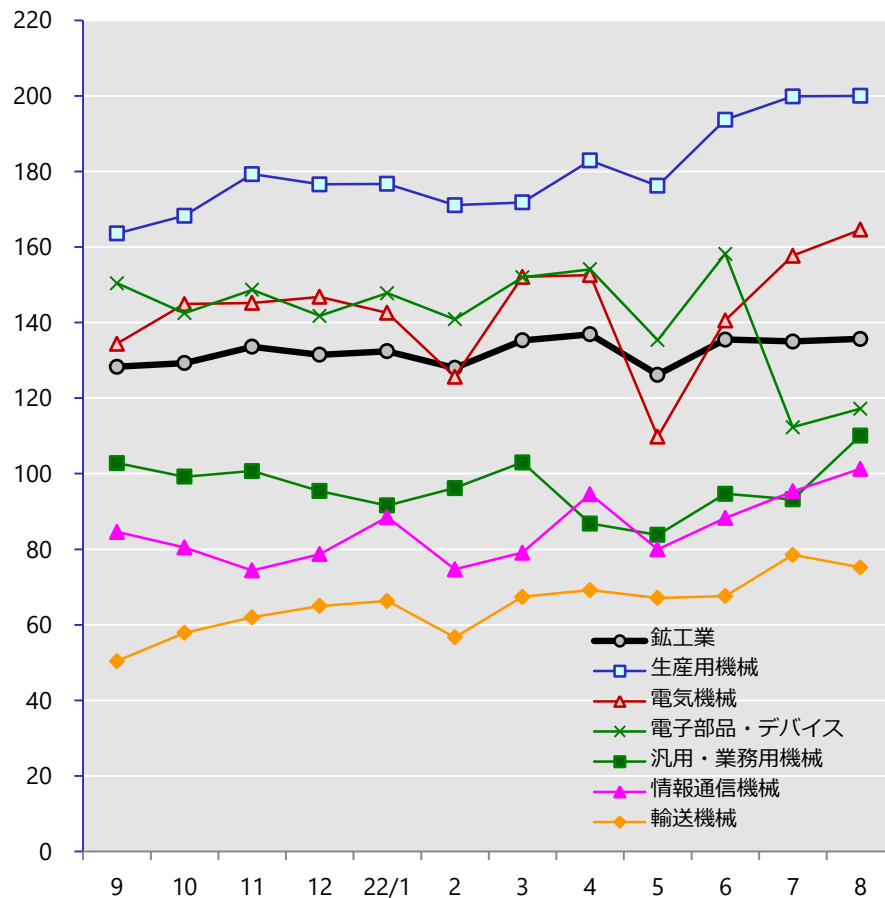
「日本銀行甲府支店」

【生産活動】

機械工業は、工作機械や電子部品などで好調な動きが続いているが、これまで増勢を維持していた半導体製造装置に一服感が窺われるほか、原材料や部品・部材などの価格上昇・供給制約の影響から、一部に弱い動きもみられる。

地場産業関連は、国内需要の縮小や原材料価格の上昇など厳しい局面が続いているが、一部に回復の動きもみられる。

鉱工業生産指数（季調済、2015年=100）



「県統計調査課」

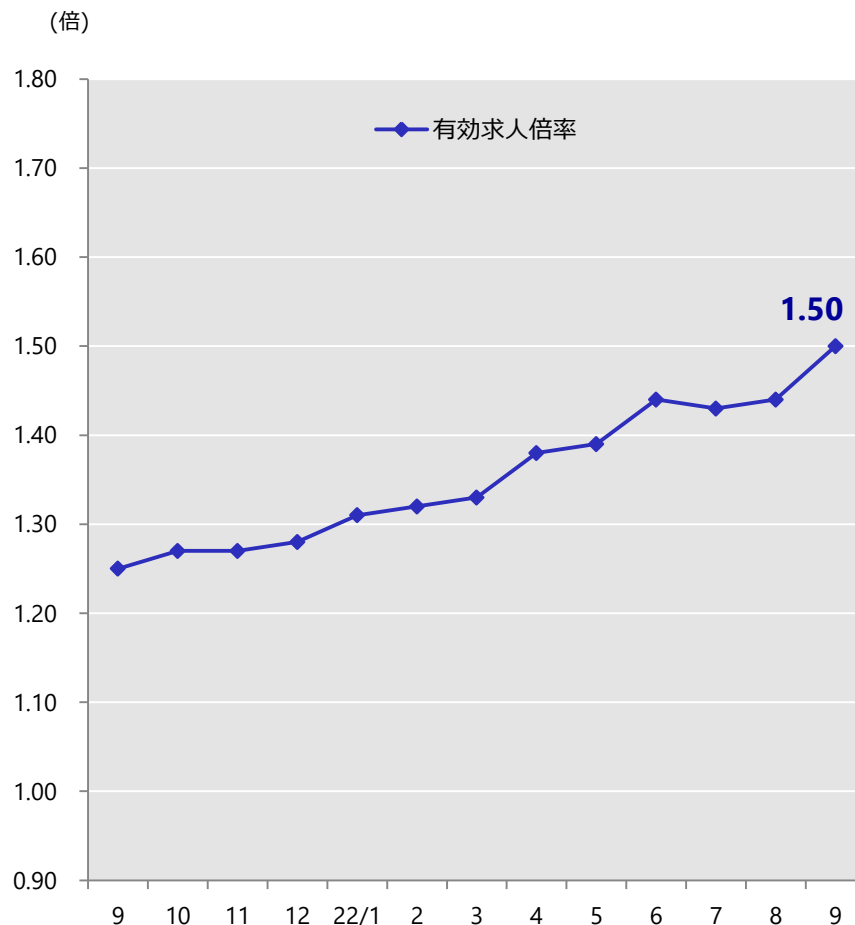
【雇用情勢】

有効求人倍率は、改善の動きが続いている。

	山梨県	全国
有効求人倍率（9月）	1.50倍	1.34倍

「厚生労働省」

雇用情勢



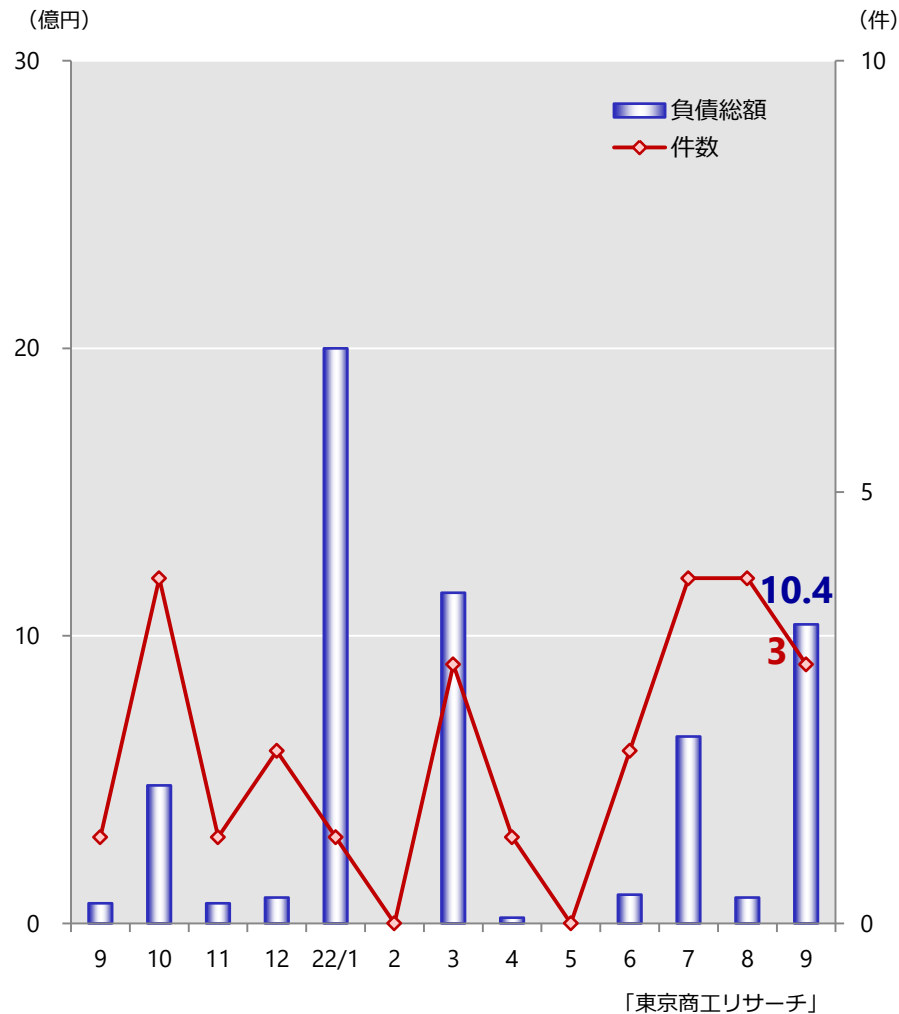
「山梨県労働局職業安定部」

【企業倒産】

2022年度上半期（22年4月～22年9月）の県内企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数が14件、負債総額が19億7百万円となった。

件数は前年同期比5件（55.6%）の増加、負債総額は同26億90百万円（58.5%）の減少となった。

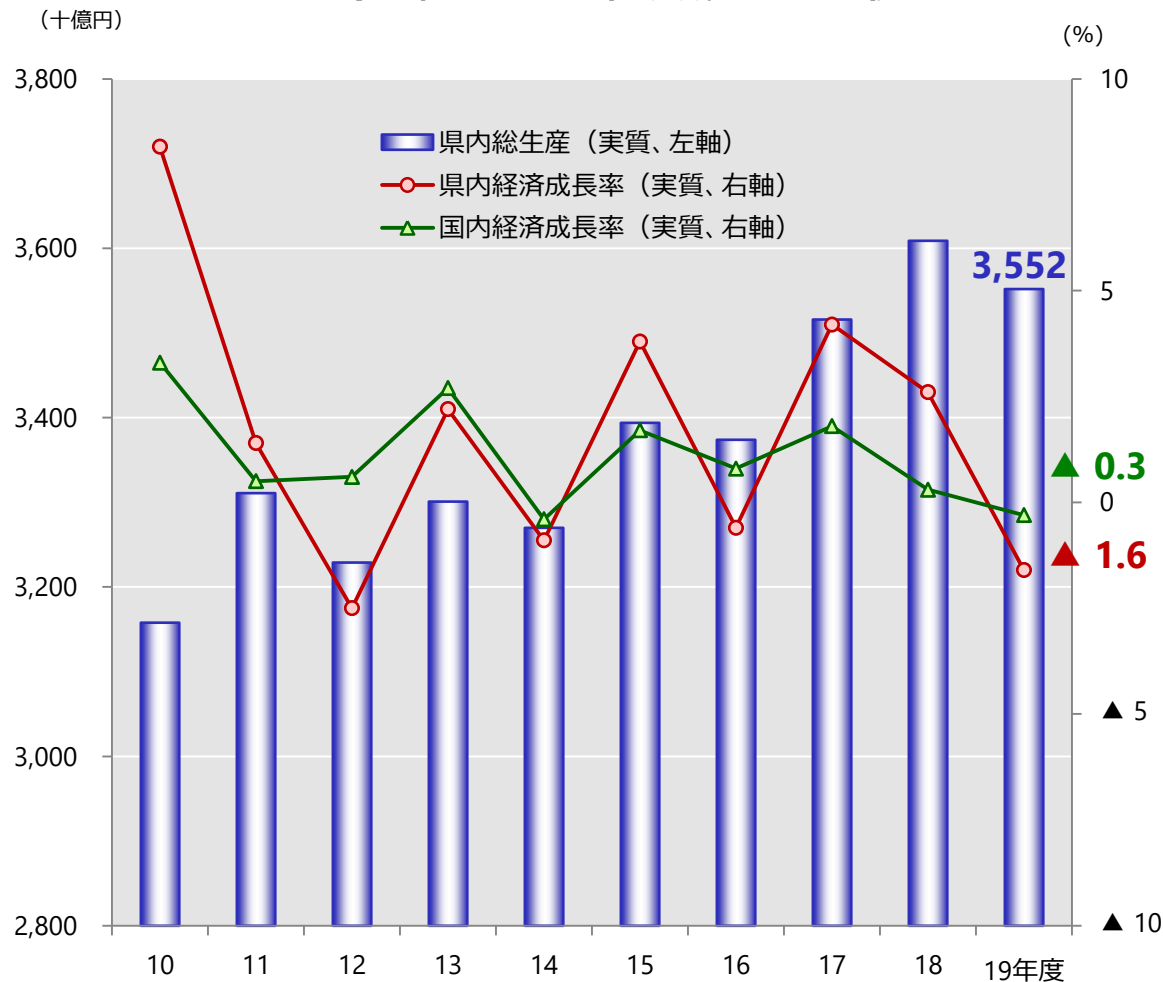
企業倒産



【山梨県経済の特性】

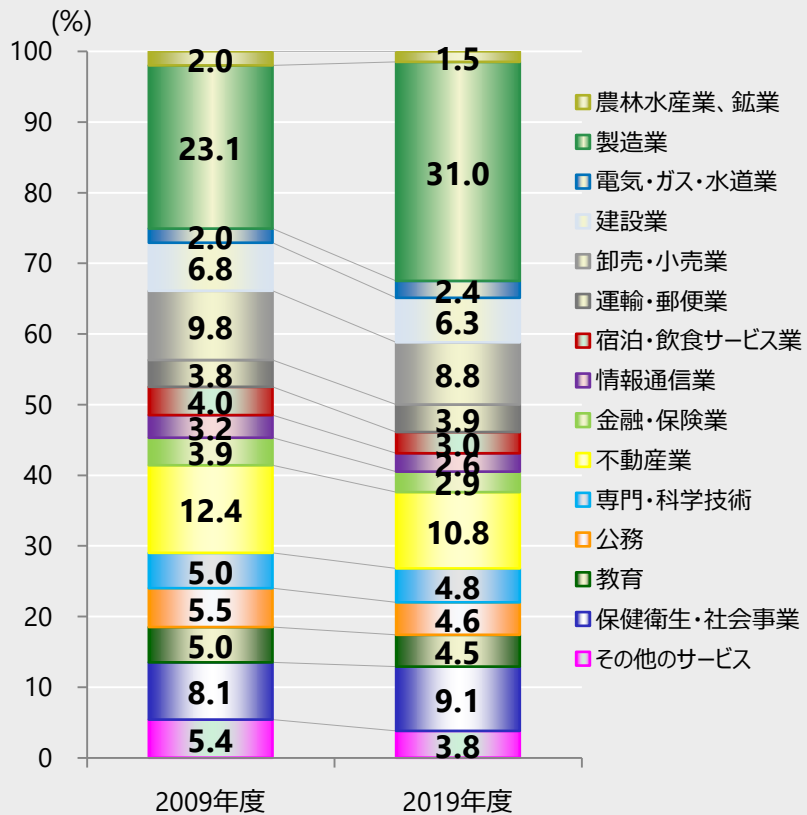
県内経済の実質成長率は、
このところ緩やかな回復傾向
をたどっていたが、足元で弱
さがみられる。

県内総生産額・経済成長率の推移



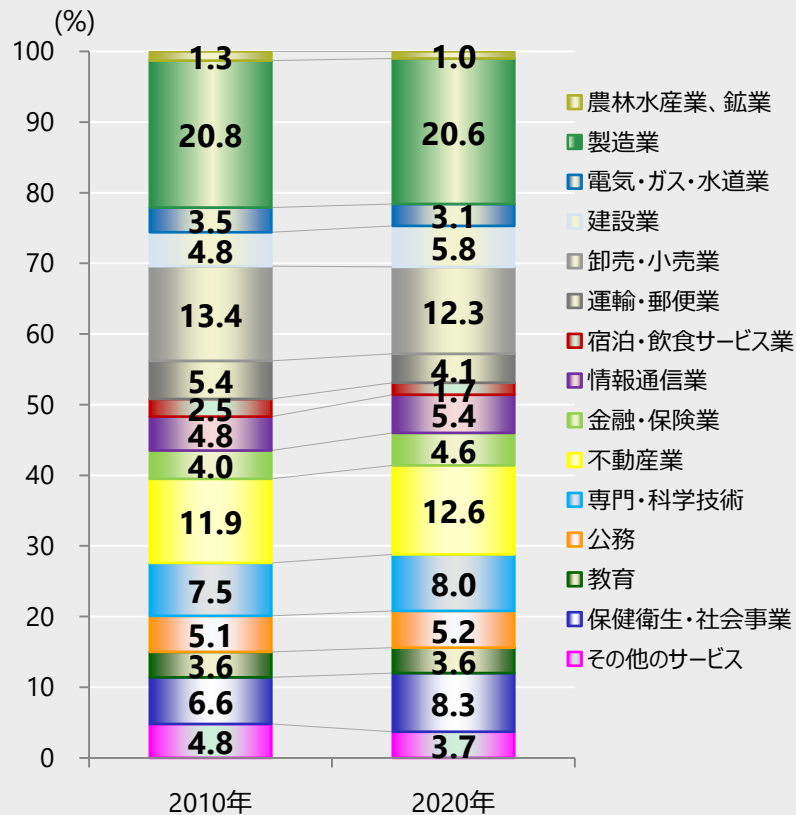
「内閣府 国民経済計算年報」、 「山梨県 県民経済計算年報」

山梨県の経済活動別県内総生産



「山梨県 県民経済計算年報」

全国の経済活動別国内総生産

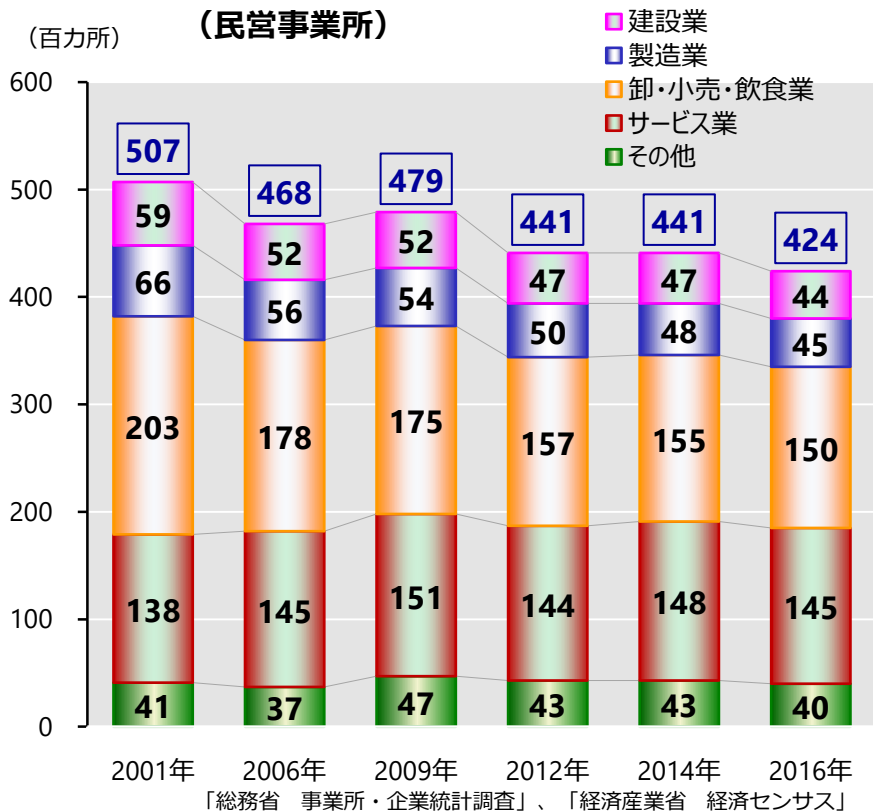


「内閣府 国民経済計算年報」

○ 産業別構成比を全国と比較すると、製造業のウエイトが高い。

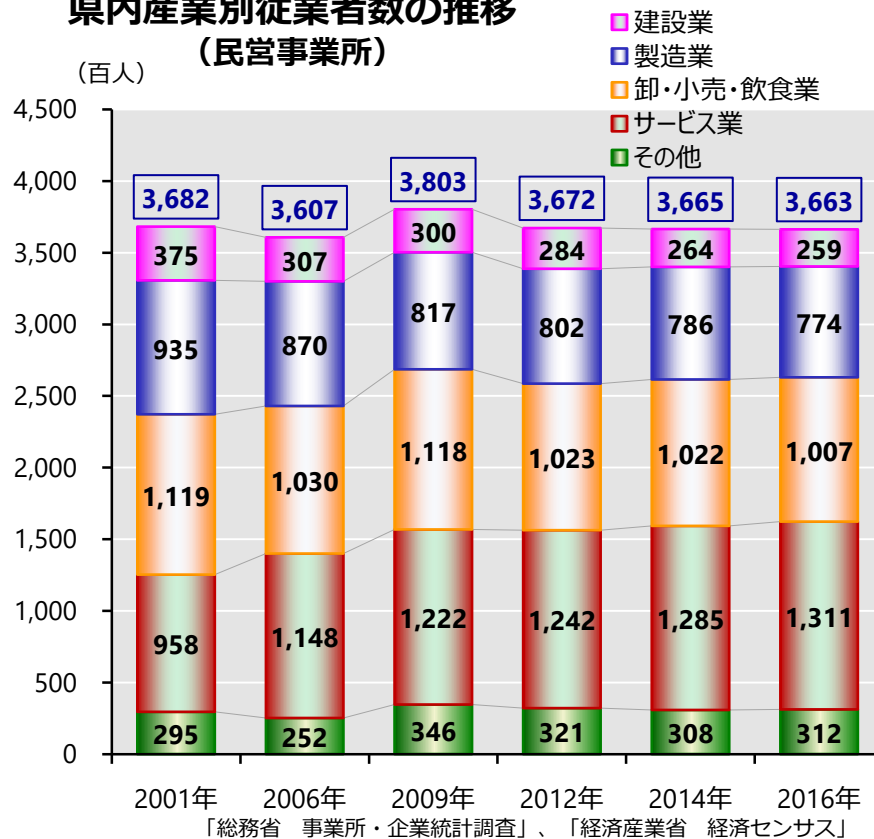
県内産業別事業所数の推移

(百カ所) (民営事業所)



県内産業別従業者数の推移

(百人) (民営事業所)



【事業所数・従業者数】

- 事業所数は、輸入品との競争による地場産業の減少や、中心市街地の衰退による小売業の減少などを要因に、1986年をピークに減少傾向。
- 従業者数は、生産効率の向上や事業所数の減少に伴う正社員の減少などを背景に、1996年をピークに減少傾向。
- こうした中、サービス業のうち「医療・福祉」の事業所数・従業者数が増加している。

※2009年以降は「経済センサス」の数値（事業所数、従業員数とも調査対象を拡大しており、2006年までのデータとの連続性はない）

※民営事業所とは、国及び地方公共団体の事業者所を除く事業所をいう。

【製造品出荷額等の推移】

- 山梨県の工業構造は、1982年の中央自動車道全線開通と相前後して機械工業の集積が急速に拡大し、現在では製造品出荷額等の約6割を占める。

<製造品出荷額等>

- 1982年：1兆834億円
→ 2020年：2兆5,302億円（133.5%増）

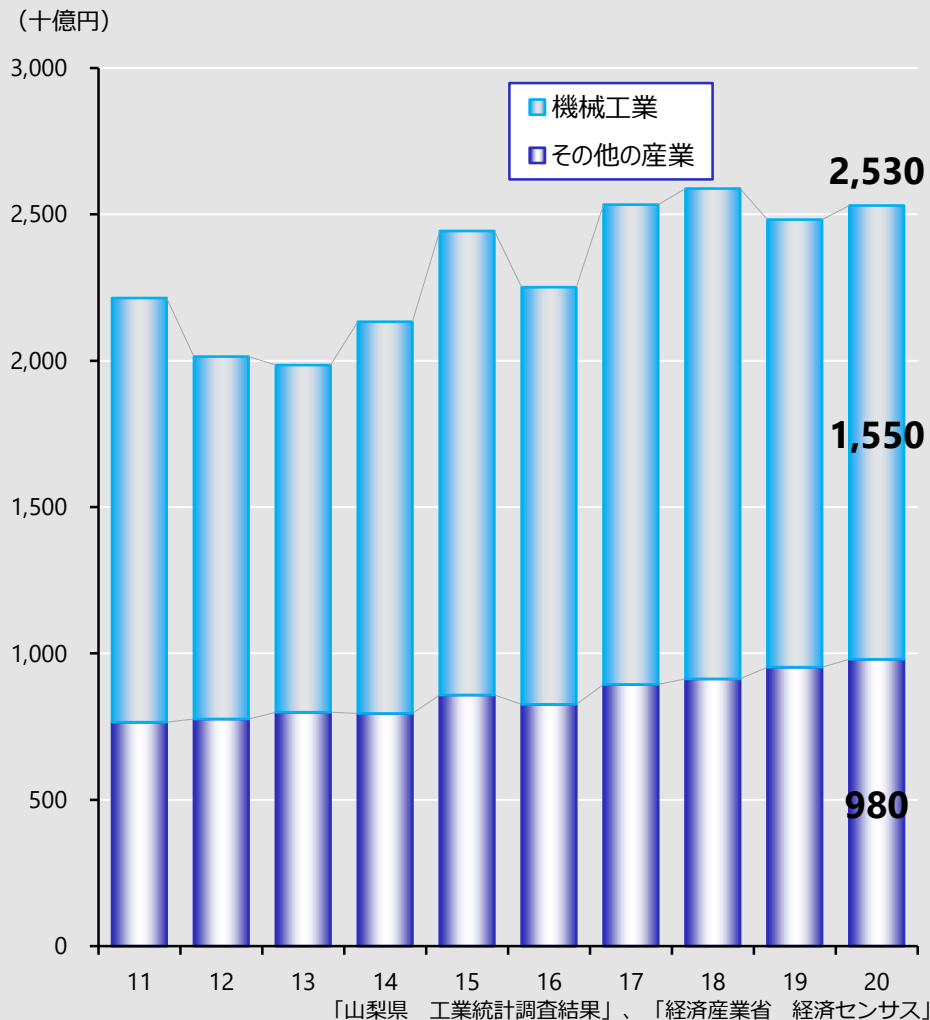
<全体に占める機械工業の割合>

- 製造品出荷額等に占める機械工業の割合は61.2%(2020年)であり、全国の同割合45.2%と比較して高い。

山梨県の製造品出荷額等の順位とリーディング産業の変遷

	全国順位	リーディング産業
1950年	40位	繊維
1970年	40位	繊維
1990年	33位	電気機械
2010年	33位	生産用機械
2011年	33位	電気機械
2015年	33位	生産用機械

県内製造品出荷額等の推移



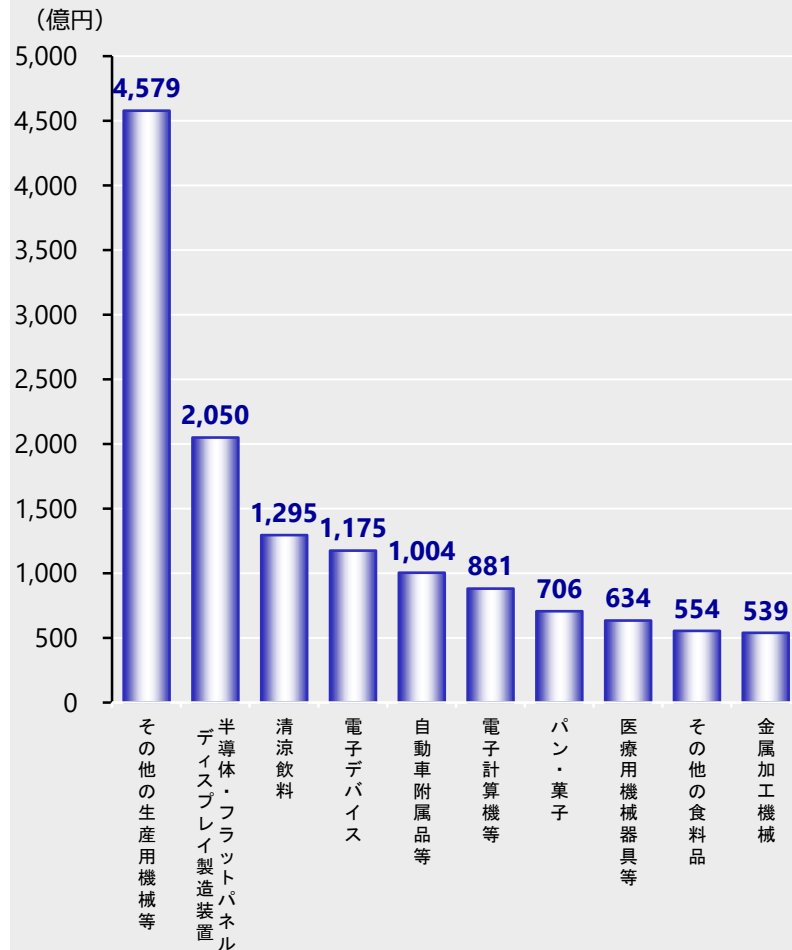
- 生産用機械、半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置等のウエイトが高い。
- このほかにも、情報通信機器向けの各種デバイス等、最先端のIT関連産業が集積している。
- 中小企業の技術水準も着実に上昇。
ニッチマーケットながら国内・世界市場で高シェアを獲得する企業も存在。

全国上位の生産品目（2019年実績）

品目	出荷額	全国シェア	順位
数値制御ロボット	2,402億円	74.3%	1位
ミネラルウォーター	682億円	38.2%	1位
巻上機	240億円	26.4%	1位
真空装置等	97億円	17.0%	1位
半導体・IC測定器	488億円	20.9%	2位

「2020年 工業統計調査」

製造品出荷額上位10品目（2019年）



「2020年 山梨県 工業統計調査結果」

項目	年次	数値	順位	項目	年次	数値	順位	項目	年次	数値	順位
総面積	2022年	4,465km ²	32	民営事業所数	2020年	43,442か所	41	家計実収入 (勤労者世帯1世帯 当たり1か月平均)	2021年	563,275円	37
可住地面積比率	20年	21.3%	44	製造品出荷額等	20年	25,302億円	31	消費支出 (勤労者世帯1世帯 当たり1か月平均)	21年	313,311円	21
自然公園面積比率	20年	27.1%	8	同従業員1人当たり	20年	35,082千円	23				
総人口	21年	805千人	42	年間商品販売額	19年	16,323億円	42	平均消費性向 (勤労者世帯)	21年	68.8%	7
世帯数	21年	365千世帯	41	同売場面積1m ² 当たり	19年	1,745千円	36	自家用車保有台数 (軽自動車含む・人口千人当たり)	21年	681台	4
年少人口比率	21年	11.3%	35	農業産出額	20年	974億円	32	公立図書館数 (人口1万人当たり)	21年	0.63か所	1
生産年齢人口比率	21年	57.4%	20	生産農業所得率	20年	37.7%	23	コンビニエンスストア数 (人口10万人当たり)	21年	57.0店	2
老年人口比率	21年	31.3%	24	新設住宅着工戸数	21年	4,513戸	42	住宅地平均価格 (基準地価・1m ² 当たり)	21年	23,700円	39
人口増加率	21年	△0.57%	12	新設住宅1戸当たり 床面積	21年	101.9m ²	4	持家比率	18年	70.2%	15
県内総生産額(実質)	19年度	35,523億円	42	公共工事請負契約額	21年	2,026億円	41	教育費割合 (勤労者世帯対消費支出)	21年	5.3%	24
経済成長率(実質)	19年度	△1.6%	29	建築着工物床面積	21年	899,992m ²	36	大学等進学率	21年	58.7%	11
1人当たり県民所得	19年度	3,125千円	14	有効求人倍率	21年	1.19倍	27				

○ 総人口全国42位、県内総生産42位など、規模的には下位に位置するが、従業員1人当たりの製造品出荷額など、単位当たりの比率で見ると中位にランク。経済活動、生活水準等は比較的良好な水準にあるといえる。